

給食軽減対策支援事業の「9 月補正予算で」の内容、公立保育園は当初予算通り
2027.3 まで (誤) 1 食 750 円補助 → (正) 1 月 (月額) 750 円補助

◆経済教育委員会決算審査 (10/2)

渡辺さとしの
意見・要望

決算審査とは、地方公共団体の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算書や関係書類について、計数の正確性、予算の執行や事業の経営が適正・効率的に行われたかなどを、監査委員が審査し、意見書を提出する手続きです。監査委員の審査後、市長は監査委員の意見書を付して決算書を議会に提出し、議会で認定の審査が行われます。
2026年10月2日に、2025年度の経済教育委員会の決算審査が行われました。

●いちのみや応援寄附金(ふるさと納税)推進事業について

寄付者に対し地元特産品などの返礼品を贈呈し、寄付の促進を図るとともに地元特産品や市のPRを行った。

寄付件数 1,872件

寄付金額 1億9148万5868円

※居住自治体には寄付できないことや、一部の返礼品に人気集中し、それらの自治体にふるさと納税が集中している実態です。多くの自治体は税収減となる制度です。しかも、高額所得者ほど利用できる枠が大きく、減税される金額も大きいという高所得者優遇の制度でもあり、問題であると考えます。



●可燃物収集運搬事業について

2025年10月から可燃ごみの収集の際に、リチウム蓄電池などの収集運搬を行っている。

【質問】発火する恐れがあるなどの心配の声はあったのか。

【答弁】一部の町内会などから心配する声が寄せられました。

【質問】それらの声にはどのように対応したのか。

【答弁】先行他市の事例なども示して、ご理解いただくよう努めました。

【質問】回収されたりチウム蓄電池などはどのようなになったのか。

【答弁】回収された総量は、3,911kgで、膨らんでいるなど発火の恐れがあるようなものを除き、次の方に使ってもらえるようにリサイクルを行った。



●石綿含有産業廃棄物に対する行政代執行について

事業所内に残置された石綿を含有する産業廃棄物に対して、生活環境の保全上支障が生ずる恐れがあるため、飛散防止措置としてシート掛けを行った。(浅野羽根地内)

【質問】今後についてどのように考えているか。

【答弁】監視するパトロールを増やして、現場の状況をつかめるように努めている。

※今後も監視を行うとともに、必要な場合には新たな措置も考えていただくように求めました。

●キャッシュレス決済ポイント還元事業について

物価高騰対策支援として消費喚起及びキャッシュレス決済を推進するため、事業期間中(10月1日～31日)に対象店舗でスマートフォン決済アプリ「aupay」、「d払い」、「Paypay」、「楽天ペイ」の利用時に、市独自にポイントを還元する事業を行った。

決算額 3億9,069万8,228円

(ポイント付与額 362,048,415円、プロモーション等事務費 28,649,813円)

(1決済あたり上限1,000円、期間中上限5,000円)

※キャッシュレス決済推進の事業としては、もう何年も行われており目的は果たしているのではないのでしょうか。キャッシュレス決済に抵抗がない方はもう十分使っていて、抵抗がある方はほぼ使われてない状況に固定化が進んでいると考えます。また、一部のサービスの使用者にだけ還元が行われることも問題だと考えます。2026年度も行われる予定ですが、今後見直すべきだと求めました。

●学校施設整備事業の内、屋外トイレ改修工事について

【質問】現在の屋外トイレの洋式化の状況と今後の方向性はどうなっているか。

【答弁】現在、洋式化率50%の学校が、小学校・中学校で各5校程度にとどまっている。予算の状況などを見ながら、整備を進めていく。

※児童・生徒にとっても、和式のトイレが使いにくいという声を伺います。また、来訪者の方でも洋式の方が使いやすい方も多く、整備を進めるよう求めました。



日本共産党一宮市議団として、今回の経済教育委員会決算審査は認定としました。決算審査は、予算執行や事業経営が適正か効率的かなど議会として審査するものです。各議案への賛否や意見表明を行うことと異なり、議決と異なった執行が行われていないことから賛成しました。